

令和8年度「実施計画 兼 まちづくり達成状況報告書」（事務事業点検シート）

課等名：学校教育課

シート No.：39

作成日：2026. 5/12

（１）総合計画上の位置付けと事務事業の背景・目的と目標

後期基本計画	施策の大綱	Ⅲ学校教育・生涯学習の推進	事務事業の背景・目的	事務事業の目標
	施策の目標	1 学校教育を充実し、次世代を育てる	令和元年度には、文部科学省により「GIGA スクール構想」が提唱されましたが、その直後に発生した新型コロナウイルス感染症への対応のため、国の ICT 環境整備計画が大幅に前倒しされ、本市でも、令和2年度末までに、市内すべての小中学校で、児童生徒1人1台端末や高速・大容量の校内通信ネットワークの整備、クラウドサービスの積極的な活用など、新たな時代に対応する教育 ICT 環境が実現することとなりました。 1人1台端末の利活用の状況については地域間での格差が存在し、また、ネットワークに関する課題や、校務におけるクラウド活用に関する課題なども見られていることから、GIGA スクール構想の第2期である「NextGIGA」に対応していきます。	GIGA スクール構想の第2期である「NextGIGA」に対応するために、①端末整備・更新計画、②ネットワーク整備計画、③校務DX計画、④1人1台端末の利活用に係る計画の各種計画を策定・公表し NextGIGA の基盤となる1人1台端末の更新を行いました。 今後は、各種計画に基づき、「ネットワーク環境の再構築」、「校務支援システム環境のクラウド化」及び「テレワーク環境の構築」等を進め、教師の働き方改革を含めた市の重点施策である「子どもまんなかまちづくり常総」を進めていきます。また、「個別最適化な学び」及び「協働的な学び」のをより促進するためにより児童生徒における ICT 環境の充実を図ります。
	施策	1 学校教育		
	施策内容	教育環境の充実		
	その他、拠法令及び分野別計画等	GIGA スクール構想、公立学校情報機器整備事業に係る各種計画について		
事務事業名		学校情報化と GIGA スクール構想の推進		

（２）アクティビティ（活動・事業）とアウトプット（結果）

（３）インプット（投入）

No.	アクティビティ（活動・事業）		アウトプット（結果）			R 8 予算額	R 8 決算額
	活動名・事業名 （対象年）	R 8 活動・事業内容	指標名（単位）	R 8 目標値	R 9 目標値		
				R 8 実績値	R10 目標値		
①	学校 ICT 環境の充実 （R8）	ネットワーク再構築及び校務支援システム環境等学校 ICT 環境更新事業の業者選定	公募型プロポーザル実施回数（回）	1	0	85,157 千円	千円
②	学校 ICT 環境の充実 （R8）	学校 ICT 環境の構築	学校 ICT 推進委員会の開催回数（回）	4	0	0 千円	千円
③	生成 AI 教材の活用事業 （R8・R9・R10）	生成 AI 教材の活用 ※中学校4校	授業単位（単位）	28	56	440 千円	千円
④	児童生徒の ICT 環境促進事業 （R8・R9・R10）	AI ドリルの活用	問題解答数（1人あたり）（問/月）	300	500	11,400 千円	千円
⑤	児童生徒の ICT 環境促進事業 （R8・R9・R10）	授業支援ソフトの活用	ログイン率（％）	70	80	3,680 千円	千円
⑥	学校 ICT 環境の充実 （R8・R9・R10）	ICT オンサイトサポート事業	日数（日）	216	216	12,120 千円	千円
⑦	セキュリティ意識の向上 （R8・R9・R10）	学校情報セキュリティポリシーの運用	自己点検による順守率（％）	90	95	0 千円	千円
⑧						千円	千円
⑨						千円	千円
⑩						千円	千円

（４）アウトカム（成果）

成果に関連する上記（２）の活動名・事業名（No.）	指標名（単位）	指標の設定理由と目標値の根拠 （目標値を達成することにより市として何が達成されるか）	R 7 現状値	R 8 目標値	R 8 実績値	目標年度
						目標値
①②③④⑤⑥⑦	授業で ICT を効果的に活用できる教職員の割合（小学校）	小中学校県平均+2%とし、GIGA スクール構想の推進に繋がます。	90.6	95.1%		令和13年度 100%
①②③④⑤⑥⑦	授業で ICT を効果的に活用できる教職員の割合（中学校）	小中学校県平均+2%とし、GIGA スクール構想の推進に繋がます。	90.6	95.1%		令和13年度 100%

（５）目的・成果の達成に向けた点検・改善

業務の振り返り	改善の余地	今後の方向性
	☐ コスト ☐ 活動 ☐ 成果 ☐ その他	